

ラドヤード・キプリング

8 カインとアベル

アメリカ西部版

カインとアベルは兄弟どうしであった
(クープレー カーマローン 畜生め)
兄カインは農業 弟アベルは牧畜業を営んだ
(クープレー カーマローン コーホー)

カインは川べりで野良仕事 5
だから日照りでも平っちゃらさ

カインは土手を築き水門を作り 水路をうがち水を引いた
(コーンのためなら 角など構いやしない)
ユフラテ川の水を半分引き込んだ
クソタレコーンを育てるために 10

だがアベルはカラカラの平原に牛を追った
ダムや豪雨を当てにして行かねばならぬ

三年も干ばつが続いたそのあげく
井戸も湧水もダムも干上がっちゃった

牡牛の群れがカインの新邸にやってきて 15
(みんな水飲みたいよー)
並べた雁首がんどびのすき間に灼熱の陽の光
「おいらのめんこい雌牛めに水くれよ モー」
だがカインはただひと言「やだね」

雌牛の群れがカインの豪邸にやってきて 20
並べた雁首がんどびのすき間に冷たい月の光
「あたいたち哀れな雌牛にお水ちょうだいよー」
だがカインはただ一言「やだね」

仔牛^{べこらし}の群れがカインの美邸にやってきて
並べた雁首^{がんくび}のすき間に宵の明星がきらめく 25
「ぼくらにお水ちょうだい 大きく育つよー」
だがカインはただ一言「やだね」

牡牛の群れはみなを引き連れ帰っていった
アベルはカインのところへ行き
「兄貴 後生だ 水売ってくれ 30
さもないと今年はビフテキ^な無しだよ」
カインは答えてひと言「やだね」

「兄貴 水門開けてよ
ほんの少し水分けてよ」
カインは答えてひと言「やだね」 35

「おれのダムはがっしり 水路はしっかり
水は一滴だって漏れたり こぼれたりするもんか
ちゃんとコーンが育つまではな

水は売らんし 引いてもやらん
もし水路を壊すなら 法に訴えてやる 40
やると言ったら おれはやるぞ」

そこでアベルは牛追い棒を振り上げ
エデン街道の堤防に穴を開けた

アベルは足と手を使い穴をうがち
ユフラテ川の水を陸^{おか}に流した 45

アベルはユフラテ川の水を平原に撒いた
それで牛たちはまた水が飲めるようになったのだ

カインはアベルの仕業を見ていた
だがその頃は銃^{じゆう}など物騒なものはなかった

カインはヒッコリーの枝で棍棒を作った 50
そしてベルを呼び止めた

「水は売らなかった 引いてもやらなかった
それでおまえは法を破った だから訴えてやる

おまえは鍔^{ガロンハット}広帽と拍車をつけて馬を乗り回し
おれのきゅうり畑を荒らしまわる

55

おまえの特牛^{こっとい}を野菜畑に放してみろ
そのときや命乞いする羽目になるぞ

それでおまえはお陀仏だ ざまみやがれ
神様のお慈悲にでもすがれ おれに慈悲を乞うても無駄なこと

そのときアベルは兄に殺^やられると直感した
だがその頃はナイフなど物騒なものはなかった

60

そこでアベルは牛追い棒をかまえて立ち上がった
しかしカインが先手を食らわし 弟を殺してしまった

牡牛は血の臭いをかぎ狂乱して 走り回った
赤土の中に角を突き刺し 脚を突っ込んだ
仔牛はうめき 特牛^{こっとい}はうろうろ歩き廻った
人類最初の殺人事件を見たからである
牛の群れはノドの土地へと散っていった
そしてカインは裁かれた

65

だがカインのその後の苦難を考えると
神の裁きが公平だったとはどうしても思えない

70

(榊井幹生訳)